

2023年4月1日～2024年3月31日の間に当院において

消化器外科・整形外科に手術目的で入院された方およびご家族の方へ

「当院における周術期栄養管理実施加算導入後の栄養管理の現状と課題」 へのご協力のお願い

研究者代表者：福山医療センター 栄養管理室 主任栄養士 森廣 真菜
当院共同研究者：福山医療センター 栄養管理室 栄養管理室長 藤原 朝子
福山医療センター 消化器内科 消化器内科医長 坂田 雅浩

1. 研究の意義と目的

1) 研究の背景および目的

当院では、2022年より消化器外科（消化器外科、食道・胃腸外科、胃腸・内視鏡外科、大腸・肛門外科、外科、肝胆膵外科）と整形外科の手術を行う患者さんを対象に、全身麻酔を伴う周術期患者さんの日々変化する栄養状態を把握した上で、術前・術後の栄養管理を適切に実施した場合に算定できる周術期栄養管理実施加算を算定しています。周術期の臨床効果については、消化器外科のみならず心臓血管外科、整形外科領域等での適切な栄養療法は術後合併症を減らし、在院日数を短くすると数多くの臨床データが蓄積されています。消化器切除を伴う消化器外科と、伴わない整形外科では消化機能の低下等による術後の栄養状態低下のリスクが異なると推測されますが、周術期栄養管理実施加算を取得した施設において、消化器外科と整形外科の栄養評価の差を検討した研究は少ないのが現状です。そのため、消化器外科と整形外科の手術において、術前と術後の栄養評価、ならびに診療科ごとの栄養評価の結果を比較することで、術後に栄養状態が低下しやすい患者さんや診療科の傾向を把握し、栄養状態の低下リスクに応じた栄養介入の検討をするために研究を計画しました。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究により手術後に栄養状態が低下するリスクの高い患者さんの傾向を把握し、適切な栄養管理を行うことができ、術後合併症を減らし、在院日数を短くすることに貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象

2023年4月1日～2024年3月31日の間に消化器外科・整形外科に全身麻酔を伴う手術を目的に入院し、周術期栄養管理実施加算を算定した患者さん、消化器外科71名と整形外科113名。

2) 実施期間

倫理審査委員会承認後かつ施設長許可取得後～2024年7月31日

3) 研究方法

カルテから、年齢、性別、身長、疾患名、術式、術前と術後の体重・BMI値・下腿周囲長・摂取栄養量・栄養充足率・血清アルブミン値・ヘモグロビン値・リンパ球数・CRP、栄養スクリーニング結果、栄養評価結果（良好・軽度不良・中等度不良・高度不良・過栄養のいずれか）を抽出し使用させていただきます。その際には、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、当院栄養管理室内で保存させていただきます。電子情報の場合はファイルにパスワードをつけて保存し、その他の情報は施設可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理審査委員会にて承認を得た後に、研究の概要及び実施について当院ホームページ等で公開します。

5) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、**2024年7月31日**までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

福山市沖野上町4丁目14番17号

福山医療センター 栄養管理室 主任栄養士 森廣 真菜

電話：084-922-0001（平日：8時30分～17時15分）